

**アスリートの腸内細菌を研究する「AuB(オーブ)」、サッカー元代表の社長、鈴木啓太が
資本業務提携する大正製薬と合同で、スポーツ指導者に向け講演
試合に向けてコンディションをトップに持っていく「ピーキング」と「腸内環境」の相関関係など話す**

「第7回ジャパンコーチズアワード」講演会：1月25日（土）@東京・有明

アスリートの腸内環境の解析を手掛けるスタートアップ「AuB(オーブ) (株)」（東京・中央区）は、資本業務提携する大正製薬(株)と合同で、スポーツ指導者向けに、「アスリートと腸内環境の関係性」について講演します。

当日は、サッカー元日本代表で当社代表を務める鈴木啓太が、現役アスリートの腸内環境のデータを示しながら、「腸から整える選手のコンディショニング」をテーマに講演します。

重要な試合に向けてコンディションを最高の状態に調整する「ピーキング」と「腸内環境(腸内フローラ)」の相関関係についても言及します。

近年トップアスリートの世界では「コンディションの土台は腸にある」と考えられるほどで、その重要性を具体例とともに説きます。

講演は、2020年1月25日(土)開催の、日本のスポーツを支える指導者の祭典「第7回ジャパンコーチズアワード」のイベント内で行います。登壇時間は14:45～15:15頃です。

今回の講演は、2019年9月に資本業務提携した大正製薬(株)と合同で行います。提携では同社らを引受先とする第三者割当増資で合計約3億円を調達しています。

今後こうしたイベントに両社で参加するほか、腸内で有用な働きをする細菌「プロバイオティクス」*の独自素材を使った商品や、アスリートの腸内細菌の研究データを活用した商品など、開発分野で協業していく考えです。

*乳酸菌やビフィズス菌など、十分な量をとると腸内で有用な働きをする細菌のこと



< 第7回ジャパンコーチズアワード イベント概要 >

| | | |
|-------------|--|--|
| 日程 | 2020年1月25日(土) 13:00～18:00(報道受付開始 12:30) | |
| 会場 | 東京都江東区有明 1-3-33(株式会社ドーム内) | |
| アクセス | 有明テニスの森駅から徒歩約5分、国際展示場駅から同8分程度 | |
| 主催 | 一般財団法人ジャパンコーチズアソシエーション (https://www.coaches-association.jp/) ※2016年2月設立。スポーツ指導者が抱えるさまざまな問題をともに解決し、スポーツの健全な発展とよりよい社会づくりに寄与することを目的として日本のスポーツ指導者の地位向上を目指している | |
| タイム テーブル | 13:00～16:30 | セミナー: 栄養管理、トレーニングなどテーマ毎の各種セミナー ※鈴木氏の登壇時間は14:45～15:15 予定 |
| | 16:30～18:00 | 表彰式典: 最優秀コーチ賞、優秀コーチ賞、特別賞の表彰 |

<AuB について>

元浦和レッズ・サッカー日本代表の鈴木啓太が社長

AuB は 2015 年 10 月創業の、アスリートの腸内細菌を研究する企業です。代表取締役の鈴木啓太は、サッカーJリーグチームである浦和レッドダイヤモンズのプロ選手(2000.1-2016.1)で、日本代表(A代表)でも活躍した、元トップアスリートです。鈴木は、栄養士の母親に幼少の頃から「人間は腸が一番大事」「便を見なさい」と言われ、育ちます。腸内環境の重要性をいち早く認識し、現役時代からお腹でコンディショニングを整えてきました。「自分の感覚を科学的に解明して、アスリートや一般の方の健康に寄与したい」と、浦和レッズ退団(2016.1)に先駆けて、会社を設立します。

集めた便はアスリート 500 人超

スポーツ界の人脈を生かして集めた便の数は現在、選手 500 人分を超え、その検体数は 1000 を突破しています。選手は、オリンピックの金メダリストをはじめ、海外の一流クラブやJリーグに所属するサッカー選手、プロ野球選手など、超のつくトップアスリートが多数並びます。競技はサッカーやラグビー、陸上など、28 種に及びます。収集した便から DNA を採取し、腸内細菌の集団(腸内フローラ)を解析して、そのデータをもとに各大学など研究機関と、腸内フローラがヒトにもたらす効果を解明する研究を進めています。

大学等との共同研究進む、学会等で成果発表

会社が最初に取り組んだテーマは、そもそも「アスリートと一般人の腸内環境は異なるのか」。設立から 1 年で集めた約 300 人のアスリートの便を解析したところ、「アスリートは特徴的な腸内環境である」ことが分かり、そのことを、創立から 90 年以上の歴史を誇る日本農芸化学会の学会にて発表(2018.3)します。

同年 9 月には「高齢者のアスリートと一般高齢者の腸内環境の比較」に関する研究を、日本体力医学会で発表。アスリート(マスターズ陸上の選手)の方が一般より、感染症リスクが低い(病原菌を含む種類の菌が少ない=病原菌の発現率が低い)傾向等を発表します。また同年 10 月、日本農芸化学会の学会で、アスリートは「酪酸菌」が優位に多い特長があることを発表。「酪酸菌」は、免疫機能を整えたり、腸の動きを活発にしたりする働きがある菌で、一般の方の約 2 倍あることを突き止めています。

アスリートに特化した腸内環境のデータや知見は、食品メーカーからも注目されます。各社の持つ商品が、アスリートの腸内環境にどのような影響を及ぼすのかの研究を、味噌・醸造品のハナマルキや和菓子の五穀屋、キノコ生産最大手のホクトと行っています。

資金調達を機に 2 つの事業に参入、一つが「腸内細菌の特許ビジネス」

2019 年初夏には、大正製薬(株)と三菱 UFJ キャピタル(株)、個人投資家を引受先とする第三者割当増資を実施し、総額約 3 億円を調達(報道発表はシリーズ A 調達完了の 2019 年 9 月)することに成功します。出資が決まったタイミングで鈴木はすぐに、2 つの攻めに転じます。

それが「新菌の発見」と「フードテック事業への参入」です。

「新菌の発見」では 2019 年 6 月、アスリートが訪問しやすい東京・日本橋に、研究拠点(シェアラボ)を設けます。専門家が常駐し、「生の便」から生きている腸内細菌を取り出し、培養して、従来にない機能をもつ新発見の菌を見つける研究を開始、「腸内細菌の特許ビジネス」に乗り出します。

これまでは主に、便を香川大学に郵送し、生きた菌のいない「死んだ便」から DNA を採取して解析してきました。データは十分にとれますが、腸内細菌の培養は出来ませんでした。

今後はこれまでの DNA 解析で特徴的だった被験者に協力を仰ぎ、日本橋を拠点に、“生のデータ”から新菌を探す研究を強化します。

もう一つ「フードテック事業」への参入、第一弾商品を発売

そしてもう一つが、培った腸内細菌のデータをもとにした、腸内環境を整えるフードテック商品の発売です。実は4年間かけて500人・1000検体以上のアスリートの便(腸内環境)を解析した結果、日ごろから運動と食事に気を遣うアスリートの、健康的な腸に棲む菌の種類や割合の傾向を突き止めてきました。この研究で、ヒトの腸内の健康度合いは「酪酸菌の多さ」がカギを握ることを明らかにし、合わせて「菌の多様性(種類の豊富さ)」が重要な役割を果たすことを確認しています。

その知見を生かして、酪酸菌をメインに、29種類の菌を配合した「Athlete Bio Mix(アスリート・ビオ・ミックス)」を開発。同菌ミックスをベースとしたサプリメント「AuB BASE(オーブ ベース)」(1袋90粒入り、定期購入4838円(初回特典2678円)、単品5918円)を、2019年12月16日(月)より自社ECサイト(<https://aubstore.com>)を通じて新発売します。新商品は、一般の方の腸内細菌の多様性を平均7.5%増やししながら、酪酸菌を平均3.7%増加させるという検証結果を得ています。30~40歳代のスポーツ愛好家や“ビジネスアスリート”をターゲットに、日々のコンディショニングの土台となる腸内環境を整える商品として投入します。

また発売に合わせて、英LGC社の国際的アンチ・ドーピング認証プログラム「インフォームドチョイス」を取得。アスリートへのサンプリングや販売も積極化します。

「アスリートが人々に感動と健康を与える存在」に

鈴木は「アスリートの健康管理は、一般の方の健康に通じるので、腸内細菌の研究やサポートから始まったAuBはこれから、消費者向けマーケットを開拓していく。アスリートは人々に感動を与える存在に加え、世の中の健康に寄与する時代になっていく」と語ります。

<会社概要>

| | | | |
|------|---|------|----------------|
| 社名 | AuB(オーブ)株式会社 | 設立 | 2015年10月15日 |
| 資本金 | 52,340,000円 | 売上高 | 非公表 |
| 代表 | 代表取締役 鈴木啓太 | 従業員数 | 12人(2019.9月時点) |
| 共同研究 | 香川大学、至学館大学、京都大学など | 所在地 | 東京都中央区銀座7-13-6 |
| 事業内容 | 腸内細菌解析事業、コンディショニングサポート事業、 バイオマーカー開発事業、腸内細菌関連製品開発事業 | | |
| HP | https://aub.co.jp/ | 電話 | 03-4455-2139 |

——— 報道各位からのお問合せ先 ———

<AuBに関するお問い合わせ先>

AuB 広報事務局((株)Clover PR 内) 担当:澤本、富田、福本、角田(つのだ)

tel.03-6452-5220 mail:cloverpr@cloverpr.net

<第7回 ジャパンコーチズアワードに関するお問い合わせ先>

JCA 事務局

tel.03-6757-6600 mail:contact@coaches-association.jp